

第41回全日本実業柔道個人選手権大会・報告書

第41回全日本実業柔道個人選手権大会は8月27日、28日の両日、ベイコム総合体育館（尼崎市記念公園）で開催された。男子8種目（体重制7階級と22歳未満の部）628名、女子7種目（体重制7階級）120名の計748人、昨年を上回る過去2番目の参加規模の大会となった。選手諸君は所属チームの応援団や地元尼崎の柔道ファンの声援を背に受け、6試合場で熱い戦いを繰り広げた。また、時あたかもフランス・パリで開催中の世界選手権大会において日本選手が活躍を見せる中、復活を懸けるオリンピック3大会（ミキハウス）が大会初日の60kg級に出場し、会場は溢れんばかりの観客、報道陣で大いに盛り上がった。



開会式であいさつする森 大会副会長

初日の開会式は9時30分開場。水永正憲大会委員長の開会宣言、国歌斉唱、森 詳介大会副会長の開会挨拶、尼崎市教育委員会徳田耕造教育長の来賓挨拶、稲村和美尼崎市長からの祝電披露に続き、諏訪剛審判長の試合上の注意、前年度男子73kg級優勝、旭化成齋藤 涼選手の手宣誓と続き、10時から試合を開始した。

初日の結果。男子は、81kg級で垣田恭兵参段（旭化成）が延長戦の末、僚友の海老泰博参段を降して初優勝を飾り、73kg級は齋藤 涼参段（旭化成）が昨年に続き鳥居智男六段（S・T・O）と対戦し、延長戦で有効を奪って二連覇を達成。66kg級は青木雄介参段（パーク24）が昨年の覇者浅野大輔参段（自衛隊体育学校）を接戦の末破って初優勝を果たす。60kg級は新人石川裕紀参段（了徳寺学園）が決勝戦の豎山 剛参段（鹿情報教）戦までオール一本勝で初優勝を飾り、22歳未満は岡 一太朗参段（新日本製鐵・広畑）が小林真也参段との僚友対決を制し、嬉しい初優勝を飾った。

女子では、57kg級で新人の石川 慈武段（コマツ）がチームの先輩宇高奈絵参段との激しい攻防を制して優勝を遂げ、52kg級では同じく新人の浅海静香参段（JR東日本グループ）が決勝戦で昨年準優勝の小島愛子参段（自衛隊体育学校）を内股一本勝で降して優勝。48kg級は伊部尚子参段（さふ柔道クラブ）が決勝戦で濱口 光武段（了徳寺学園）と延長戦時間フルタイムを戦い抜き、赤旗3本の判定で初優勝した。

最終日。男子では、100kg超級で石井竜太四段（日本中央競馬会）が初戦から豪快な足技を重ね、辻 玄太参段（旭化成）を破って初優勝を飾り、100kg級では階級を上げて出場した増渕 樹四段（旭化成）はチームメイトの野田嘉明参段を内股で宙を舞わせて、オール一本勝で二階級制覇を果たす。90kg級は階級を上げて出場し、多彩な技を駆使、華麗な一本勝を重ねた昨年の81kg級級チャンピオン花本隆司参段（京葉ガス）が、ベテラン矢野雄大五段（月江寺柔道クラブ）を破って81kg級優勝に続く2度目の優勝を遂げた。

女子は、78kg超級は危なげなく勝ち進んだ立山真衣参段（フオーリーフジャパン）が、新田沙也加参段（日本エースサポート）に勝利し一昨年に続くV2達成。78kg級では35回大会70kg級チャンピオンの渡邊美奈武段（了徳寺学園）が久しぶりに出場、決勝戦で岡村智美武段（コマツ）から鮮やかな一本背負投を決めて二階級制覇。70kg級では、昨年決勝戦で涙を飲んだ川上由貴参段（フオーリーフジャパン）が、大住有加参段（JR東日本グループ）との接戦を制し、昨年のうっぴんを晴らす嬉しい初優勝を遂げた。63kg級は初戦から快進撃の貝沼麻衣子参段（淑徳柔道クラブ）が、決勝戦で片桐夏海武段（コマツ）を逆転の一本勝で降して初優勝を決めた。



全国各地から出場した選手が集う開会式



選手宣誓する齋藤 涼選手（旭化成）

男子100kg超級

“巨漢石井が豪快な足技の一本勝を重ねて堂々の初優勝”

旭化成の辻は接戦を勝ち抜き、準決勝戦で昨年の覇者生田秀和六段（ALSO K）を4分8秒、合せ技で降して決勝戦に駒を進める。

一方、日本中央競馬会の巨漢石井は豪快な足技を繰り出して快調に勝ち進む。準決勝戦では旭化成主将の大鋸 新五段を開始23秒豪快に刈り落として決勝戦進出を果たす。共に決勝戦初進出の両者による決勝戦。長身の両者、左右のケンカ組手ながら互いがつぶり組み合う。1分27秒、石井が左にフエイントを掛け、右小外掛に変化し辻を横倒しにして有効を奪い先制する。それから程なく、辻が左手で石井の後帯の上部を掴み、強引に左大腰を仕掛けようとするところを、石井は委細構わず右大外刈を浴びせ場外へ刈り落として一本。1分58秒。石井が初優勝を果たす。



優勝した石井選手
(日本中央競馬会)

石井の話

社会人になってから中々思うような成績が出せず悔しい思いをしてきましたが、今大会で優勝できたことは大変嬉しく思います。常日頃から職場の方々にご理解を頂き、また、存分柔道に取り組ませて頂いたこと、また、日頃からご指導を仰いでいる貫持監督、応援して頂いている友人や家族、その他大勢の方々に支えられているから、この優勝を勝ち取ることができたと自分自身感じております。今後感謝の気持ちを忘れず、全ての大会で優勝することが皆様方への自分に対する恩返しと思いい、一日一日を大切に今後とも精進して参る所存です。

【成績】

優勝 石井竜太 (日本中央競馬会)

準優勝 辻 玄太 (旭化成)

第3位 生田秀和 (ALSO K)

第3位 大鋸 新 (旭化成)

▽準々決勝

○生田 縦四方固 佐々田 タイコロ

○辻 優勢勝 清水 (パーク24)

○大鋸 判定勝 片淵 (日本中央競馬会)

○石井 大外刈 木村 (旭化成)

▽準決勝

○辻 合せ技 生田

○石井 小外刈 大鋸

▽決勝

○石井 大外刈 辻

男子100kg級

“階級を上げて出場の増測はオール一本勝で二階級制覇を果たす”

旭化成の増測は初戦から得意の内股、大外刈が冴えてオール一本勝で勝ち上がる。準決勝戦でも、1分過ぎに、新井優来参段（ぎふ柔道クラブ24）の虚を衝く背負投を見事に決め、決勝戦に臨む。

対するチームの後輩野田は得意の背負投で勝ち進み、準決勝戦では奥井真也参段（東芝）から技ありを奪った後も攻め続け、2分46秒に奥井から指導3を得て総合勝で決勝戦へ。

同一チーム、僚友の決勝戦に、選手控え室も応援席も静まりかえる。増測左組み、野田右組みのケンカ組手。長身で手足の長い増測が野田を大外刈、大内刈の足技でぐらつかせる。上背の無い野田は懐の深い増測に潜り込めず攻めあぐむ。57秒、増測が大内刈で有効を先取。その後、攻めの無い野田に指導1。

増測攻勢のうちに迎えた試合時間折り返しの2分30秒、増測が体を開きながら内股で野田を高く跳ね上げて一本。増測は3年前の第38回大会の90kg級優勝に続く2度目の優勝。堂々の二階級制覇達成。



優勝した増測選手
(旭化成)

増測の話

今回、この全日本実業柔道個人選手権大会で優勝することができ、嬉しく思っています。この大会に向けて、しっかりと稽古やトレーニングを積んでこれたのが、優勝の要因になったのだと感じています。今後も、この結果に満足することなく、次の大会に向けて稽古やトレーニング等をしていきたいと思っております。応援していただいた皆様に感謝しております。

【成績】

優勝 増測 樹 (旭化成)

準優勝 野田嘉明 (旭化成)

第3位 新井優来 (ぎふ柔道クラブ24)

第3位 奥井真也 (東芝)

▽準々決勝

○新井 判定勝 石本 (センコー)

○増測 内股 延城 (パーク24)

○野田 優勢勝 今井 (ALSO K)

○奥井 判定勝 川端 (新日本製鐵・広畑)

▽準決勝

○増測 背負投 新井

○野田 総合勝 奥井

▽決勝

○増測 内股 野田

男子90kg級

“昨年の81kg級覇者花本が多彩な投技を繰り出して二階級を制す”

この階級に過去V3の矢寄（月江寺柔道クラブ）は勝負強い柔道で、接戦を制して勝ち上がり、準決勝戦では馬場大輔参段（中京柔道クラブ）を攻め続けて指導2を奪い、2年ぶりの決勝戦進出を決める。

片や、昨年81kg級チャンピオン京葉ガスの花本は多彩な投技で観客を魅了し、危なげなく準決勝戦に駒を進める。準決勝戦では1分49秒、花本が大外刈で攻め、これを返そうとする法兼 真五段（ALSOK）と団体で倒れ込むが、花本は畳に落ちる寸前に体を開いて腹ばいで着地し、背中から落ちた法兼に競り勝つ。

決勝戦は一昨年の覇者矢寄と前年の81kg級を制した花本との明治大学の先輩後輩の対決となった。矢寄左組み、花本右組み。互いに組み手争いに終始するところ、2分過ぎ花本が奥襟を押さえて前に出ると、矢寄がこれを嫌い防御の姿勢で後ろに退く。その一瞬の隙を衝いて、花本は追い込みながら小外掛から谷落を仕掛け、2分25秒矢寄を場外遠く背中から落として一本勝。花本、見事に二階級を制覇。



優勝した花本選手
（京葉ガス）

花本の話

昨年に続き今年も優勝することができ、とてもうれしく思います。今回優勝できたのは、日頃応援してくださる社員の方々や柔道に対して会社がとても理解があり、思う存分柔道の練習に取り組める環境を与えてもらっているおかげだと思います。今回優勝することはできましたが、反省点も多かったもので、これからしっかりと練習を積んで克服していきたいと思っています。

【成績】

優勝 花本隆司（京葉ガス）
準優勝 矢寄雄大（月江寺柔道クラブ）
第3位 法兼 真（ALSOK）
第3位 馬場大輔（中京柔道クラブ）

▽準々決勝

○矢寄 優勢勝 齋藤（新日本製鐵・広畑）
○馬場 合せ技 高田（まるや接骨院）
○法兼 判定勝 山本（日本中央競馬会）
○花本 大外刈 三宅（ナチュラル）

▽準決勝

○矢寄 優勢勝 馬場
○花本 大外刈 法兼

▽決勝

○花本 谷落 矢寄

男子81kg級

“垣田がチームの後輩海老を延長戦で降し嬉しい初優勝”

旭化成の新人海老は得意の背負投を武器にオール一本勝で準決勝戦に進出し、ここまで順調に勝ち抜いて来た平尾譲一参段（パーク24）を片襟から低い背負投で一本を奪い決勝戦に進む。

一方、同じく旭化成垣田は尻上りに調子を上げて勝ち進み、黒岩 翼四段（了徳寺学園）との準決勝戦では、徐々に攻勢を強め、中盤に入ってから2分40秒、低い姿勢から内股で黒岩を跳ね上げて3回戦以降3試合連続の一本勝を奪う。

左組み同士、同じチーム先輩後輩の決勝戦。共に短距離の両者、互いに背負投、袖釣込腰等の担ぎ技で激しく応酬する。垣田に指導1が与えられるも引分け、延長戦に突入。

延長戦序盤は海老が巴投の連発で試合をリードするも、中盤に入り垣田が背負投であわやという攻撃を行って以降は、垣田が試合の主導権を奪う。遂に2分1秒、海老が右足を踏み出したところを、垣田は鋭く反応して出足払一閃。横転した海老に有効が宣告されて試合終了。垣田が後輩の海老を下して初優勝を飾る。



優勝した垣田選手
（旭化成）

垣田の話

入社してからいい結果を出せずにいたので、今大会の優勝は本当に嬉しく思います。全日本ジュニアで優勝して以来の優勝です。この結果は監督、コーチはじめ、会社の方々、皆さんのお陰だと思っています。これを機に、講道館杯でも上位に食い込めるよう、より一層努力していきたいと思っています。これからが勝負ですので「垣田は旭化成に入って強くなったな」と言っていただけに頑張ります。

【成績】

優勝 垣田恭兵（旭化成）
準優勝 海老泰博（旭化成）
第3位 平尾譲一（パーク24）
第3位 黒岩 翼（了徳寺学園）

▽準々決勝

○平尾 袈裟固 千葉（旭化成）
○海老 巴投 山本（九州電力）
○黒岩 内股 塘内（旭化成）
○垣田 背負投 日蔭（国士舘柔道クラブ）

▽準決勝

○海老 背負投 平尾
○垣田 内股 黒岩

▽決勝

○垣田 優勢勝 海老

男子73kg級

“ 昨年のチャンピオン齋藤が昨年に続き鳥居を降し堂々の二連覇達成 ”

ディフェンディング・チャンピオン齋藤は4回戦まで寝技を駆使して一本勝で勝ち進み、ダイコロの強豪吉園勇太参段に延長戦旗判定で勝利して後の準決勝戦では、延長戦試合終了間際に赤迫佑介参段（自衛隊体育学校）から足技で有効を奪う。

対して、通算優勝回数7回を誇る超ベテランの鳥居は年齢のハンディをものともせず、多彩な技を繰り出して勝ち抜き、年齢差15歳の赤穂YAWARAクラブの新人山本竜也参段との準決勝戦を、開始間もない34秒に電光石火、左払巻込で仕留めて一本。

決勝戦は前回大会決勝戦の再現。左右のケンカ組手の両者、齋藤は右から小外刈、大外刈、内股を繰り出し、鳥居は左から小内刈、内股、右一本背負投、体落で応戦するが、共に引手不十分で決めるに至らず。互いに指導1を受けて引き分ける。

延長戦でも同じ攻防が続くが、鳥居がやや攻勢に進める中で迎えた2分36秒、組手不十分のまま齋藤が内股で押し込むと、これが潰れて両者畳に倒れ込む。この時、齋藤は鳥居の左腕を抱えるようにして伏せた体勢から右足を跳ね上げて鳥居を裏返して有効を奪う。齋藤が二年連続の鳥居との接戦を制し、二連覇を達成。



優勝した齋藤選手
(旭化成)

齋藤の語

今大会は、内容が悪く非常に反省点の多い試合になってしまいました。そして今のままではトップの試合では勝ち上がっていけないと再認識させられました。原因はわかっているんで、短期間で修正し、納得のいく内容で講道館杯を優勝することが今の目標です。応援していただける職場の方々や両親にも喜んでもらえるよう、今まで以上に頑張ります！

【成績】

優勝 齋藤 涼（旭化成）
準優勝 鳥居智男（S・T・O）
第3位 赤迫佑介（自衛隊体育学校）
第3位 山本竜也（赤穂YAWARAクラブ）

▽準々決勝

○齋藤 優勢勝 吉園（ダイコロ）
○赤迫 袖釣込腰 赤迫（戸高鉦業社）
○鳥居 隅返 太田（自衛隊体育学校）
○山本 優勢勝 榎本（新田クラブ）

▽準決勝

○鳥居 払巻込 山本
○齋藤 優勢勝 赤迫

▽決勝

○齋藤 優勢勝 鳥居

男子66kg級

“ 青木が延長戦終了間際、昨年の覇者浅野との一瞬の攻防を制し初優勝 ”

前年のチャンピオン、自衛隊体育学校の浅野は順当に勝利を収め準決勝戦に駒を進める。準決勝戦では、オール一本勝で勝ち上がった樋口真広参段（パーク24）に送足払で技ありを奪い二連覇に挑む。

片や、パーク24の青木は初戦からオール一本勝。準決勝戦でも伊藤健太郎式段（自衛隊体育学校）から意表を衝く捨身の小外刈を奪い決勝戦に勝ち上がる。

決勝戦は開始早々、互いに足技、背負投等技の応酬となるも、決め手を欠き引分け。延長戦に入っても激しい技の攻防が続く、ここでも引分かつたと思われたタイムアップ前、浅野の仕掛けた大外刈で両者もつれ、そこを浅野が抱え上げながら青木を放り上げようとした瞬間、青木が体をかわせば、勢いのついた浅野は攻守変わって背中を着く。これが有効となり、直後プザーが鳴る。互角の戦いを続けた浅野、一瞬の攻防に後れをとり連覇を逸す。青木は嬉しい初優勝。



優勝した青木選手
(パーク24)

青木の語

今大会では、優勝以外ないと思い臨みましたが、厳しい組み合わせの中を勝ち上がったことが、大変嬉しく思います。このような結果を出す事が出来たのは、監督をはじめ、スタッフの方々、また、日頃より柔道部にご理解頂いている社長をはじめとする職場の方々のお力があったからこそだと思います。この結果に満足する事なく、11月の講道館杯での優勝、そして来年のこの大会での2連覇を目指し、日々精進したいと思っています。

【成績】

優勝 青木勇介（パーク24）
準優勝 浅野大輔（自衛隊体育学校）
第3位 樋口真広（パーク24）
第3位 伊藤健太郎（自衛隊体育学校）

▽準々決勝

○浅野 大外返 望月（センコー）
○樋口 袈裟固 松村（陸上自衛隊川内駐屯地）
○伊藤 小内刈 石本（豊田自動織機）
○青木 大外刈 莊司（自衛隊体育学校）

▽準決勝

○浅野 優勢勝 樋口
○青木 小内刈 伊藤

▽決勝

○青木 優勢勝 浅野

男子60kg級

“小川の七連覇を阻止した新人石川がオール一本勝で制覇”

了徳寺学園の新人石川は立って良し寝て良しの柔道、オール一本勝で準決勝戦進出。直前の試合でオリンピック3大会制覇の野村を降した同じ所属の小川武志五段の七連覇を阻止し、オール一本勝で決勝の舞台に。

一方、こちらもオール一本勝で勝ち進んだ鹿情報教の堅山は、準決勝戦で山岸将大参段（J-ROAD）から背負投で有効を奪って決勝戦進出。

決勝戦。左組みの両者、開始早々石川は左組みから右の低い背負投で、二度び堅山をぐらつかせる。その後、石川は堅山の左巻込が不発に終わるところを寝技で攻め、瞬時上から跨ぐように堅山の左腕を抱きかかえ、素早く腕挫十字固に極めれば、堅山は石川の足を叩いて参った。1分35秒、石川は堅山の瞬の隙を衝く手練の関節技が極まり、初出場を優勝で飾る。



優勝した石川選手
（了徳寺学園）

石川の話

今回の大会で優勝できたことは自信になりました。全日本実業柔道個人選手権大会での優勝は今年度の目標の一つであったので、とても嬉しく思います。今大会は初出場ですが、プレッシャーもなく、自分の柔道ができましたが、課題はまだ沢山残っています。これから稽古やトレーニングを妥協することなく、日頃からサポートしてくださる方々に感謝し、日々精進していきます。

【成績】

優勝 石川裕紀（了徳寺学園）
準優勝 堅山 剛（鹿情報教）
第3位 小川武志（了徳寺学園）
第3位 山岸将大（J-ROAD）

▽準々決勝

○小川 優勢勝 野村（ミキハウス）

○石川 大内刈 川上（アイシンセキリテック）

○山岸 一本背負 矢野（パーク24）

○堅山 背負投 仲村（まるや接骨院）

▽準決勝

○石川 合せ技 小川

○堅山 優勢勝 山岸

▽決勝

○石川 腕挫十字固 堅山

男子22歳未満

“3年連続の僚友対決を岡が制して嬉しい初優勝”

昨年、一昨年連続準優勝の新日本製鐵・広畑の岡は、内股で一本勝を続け、準決勝戦でも安本一貴武段（陸上自衛隊 別府駐屯地）に3分11秒、見事な内股で一本勝。

同じく昨年準決勝戦で同じチームの先輩小野勇輝武段に敗れ、第3位に甘んじた新日本製鐵の小林は、今大会も危なげなく勝ち進み準決勝戦進出。日名子隼輔武段（トヨタ自動車）にも終了15秒前、内股で一本勝し、念願の決勝戦に駒を進める。

この決勝戦は3年連続、新日本製鐵広畑チームメイトの対戦となる。先輩の岡は右後輩小林が左のケンカ組手。手の内を熟知している故か互いに技が出ず。防衛姿勢を続けた小林に21秒指導1。その後も同じ展開が続く2分1秒、再度小林に指導2。リードを許した小林は攻撃に転じるが決め手を欠く。4分6秒、今度は技の出ない岡に指導1。その後は両者の攻防が続くも決めるに至らず時間。指導の差で岡の初優勝が決まる。



優勝した岡選手
（新日本製鐵・広畑）

岡の話

この22歳未満級では、昨年・一昨年と準優勝だったので今年こそはという気持ちで試合に臨みました。体の状態も万全ではなかったので不安な面が多かったのですが、結果を残せた事をうれしく思います。一つの通過点として考えていた試合でしたので、この結果に満足せず次の目標に向かって努力していきます。日頃から練習に専念できる環境を作ってくださっている会社の皆様、試合のたびに応援に来てくださる後援会の皆様への感謝の気持ちと、自分自身結果を残すため、これから日々精進してまいります。

【成績】

優勝 岡 一太郎（新日本製鐵・広畑）
準優勝 小林真也（新日本製鐵・広畑）
第3位 安本一貴（陸上自衛隊 別府駐屯地）
第3位 日名子隼輔（トヨタ自動車）

▽準々決勝

○岡 内股 川内（VKK）

○安本 崩上四方固 斎藤（タイコロ）

○小林 優勢勝 米田（全泰興生薬）

○日名子 合せ技 藪内（ASSIST）

▽準決勝

○岡 内股 安本

○小林 内股 日名子

▽決勝

○岡 優勢勝 小林

女子78kg超級

“立山は内・外の刈技を駆使し、一昨年に続くV2を果たす”

日本エースサポートの新人新田は2回戦で女子シニア強化選手の白石のどか参段（フォーリーフジャパン）を降す殊勲を上げて準決勝戦に進出。準決勝戦では開始23秒小貫紗綾子（松前柔道クラブ）を左払腰一本であっけなく投げ倒して、決勝戦に駒を進める。

対する一昨年のチャンピオン、フォーリーフジャパンの立山も、野村紗矢香参段（かなや接骨院）との準決勝戦を大外刈の一本勝で危なげ無く制し、決勝戦へ進出。決勝戦は新田左組み、立山右組みのケンカ組手の対決。前半は体格に優る新田が体重を利した内股、払腰で積極的に攻め、技の出ない立山に2分39秒、指導1が与えられる。

立山はこれに奮起し以後は積極策に転じる。一方の新田はスタミナが尽きたか、技を仕掛けて前に倒れ込む場面が目立つようになる。攻める立山は3分47秒、送足払と小外刈の外からの足技で新田を追い込み、新田が外からの足技に注意を払うところを逆に大内刈で刈り込めば新田は後方に倒れ技あり。その後は両者に目立った攻防なく時間。立山は2年ぶり2度目の優勝。



優勝した立山選手
（フォーリーフジャパン）

立山の話

今回、一年ぶりに全日本実業柔道個人選手権大会で優勝できたことをとても嬉しく思っております。去年も優勝を目標にしていたのですが、決勝で負け悔しい思いをしたので、今年は一層自分を奮い起こして挑みました。このように頑張れたのも、監督や仲間をはじめとするたくさんの方々の応援があっけなく出た結果なんだと思っております。これからも自分の為、応援して下さる人たちの為に精進していきたいと思っています。

【成績】

優勝 立山真衣（フォーリーフジャパン）
準優勝 新田沙也加（日本エースサポート）
第3位 小貫紗綾子（松前柔道クラブ）
第3位 野村紗矢香（かなや接骨院）

▽二回戦

○小貫 不戦勝 石山（丸順）
○新田 優勢勝 白石（フォーリーフジャパン）
○立山 合せ技 相原（実業倶楽部）
○野村 横四方固 野方（近大クラブ）

▽準決勝

○新田 払腰 小貫
○立山 大外刈 野村

▽決勝

○立山 優勢勝 新田

女子78kg級

“久しぶりに出場した渡邊が一本背負投の冴えを見せて二階級制覇”

コマツの岡村は2試合とも一本勝で難なく勝ち上がり、準決勝戦を柴野亜希参段（北関東総合警備保障）との熱戦に勝利して決勝戦に臨む。

一方の了徳寺学園渡邊は本大会の出場久しく、今大会は階級を上げて登場。2試合を寝技の一本勝で勝ち進んだ準決勝戦では、高橋千尋参段（三井住友海上火災保険）に、開始13秒、見事な背負投一本勝を決める。

決勝戦。岡村左組み、渡邊右組みのケンカ組み手の対戦は、渡邊が上背の優る岡村から、開始18秒に右組みから意表を衝く低い左一本背負投を決め、技ありを先取。その後も渡邊が足技と背負投で前後に攻める。遂に2分9秒、渡邊再度の左の低い一本背負投に岡村はくると回って背中から畳に沈む。渡邊見事な一本勝で第35回大会（平成17年）70kg級優勝に続き、本大会2度目の優勝。



優勝した渡邊選手
（了徳寺学園）

渡邊の話

78kgに階級を上げてどのくらい自分の動きが出来るのかと不安でしたが、落ち着いて試合をすることが出来ました。応援もたくさん聞こえて改めて私は幸せだなと思いました。決して諦めず成長していきたいと思っています。

【成績】

優勝 渡邊美奈（了徳寺学園）
準優勝 岡村智美（コマツ）
第3位 柴野亜希（北関東総合警備保障）
第3位 高橋千尋（三井住友海上火災保険）

▽準々決勝

●柴野 判定勝 池崎（十全会 回生病院）
○岡村 小外掛 遠藤（日光警備保障）
○渡邊 不戦勝 平岡（平成警察柔道クラブ）
○高橋 横四方固 石川（日本エースサポート）

▽準決勝

○岡村 優勢勝 柴野
○渡邊 背負投 高橋

▽決勝

○渡邊 一本背負 岡村

女子70kg級

” 昨年準優勝の川上が強敵を次々退け、嬉しい初優勝を飾る “

昨年準優勝、第1シードのフォーリーフジャパンの川上は初戦の2回戦で小島佑香参段（JR東日本グループ）を降して準決勝戦に進出。1回戦、2回戦とも内股で一本勝で絶好調の飯田有香参段（まるや接骨院）との対戦は、川上が開始27秒に大外刈一本で2年連続決勝戦の舞台に進む。

片や、初戦から一本勝で勝ち上がったJR東日本グループの大住は、準決勝戦で上野巴恵参段（三井住友海上火災保険）と対戦。両者激しい攻防を重ね延長戦に及ぶ熱戦の末、大住は上野の大外刈を小内刈で返して有効を奪い、決勝戦進出を果たす。

決勝戦は左組みの両者は組み手に拘り、引手を絞る合図の攻防を中盤まで続ける。試合が動いたのは終盤から。共に指導1で迎えた残り41秒、川上は低い右背負投を仕掛け、大住が耐えるところを前に押し込んで転がし、技ありを奪う。反撃する大住は残り21秒に払腰で川上を横転させるが惜しくも有効にとどまる。そのままブザーが轟き大住の逆転ならず。川上は昨年決勝戦敗退のうっぶんを晴らす嬉しい初優勝。



優勝した川上選手
（フォーリーフジャパン）

川上の話

社会人になって一年目に参加したこの大会では、決勝で敗れ二位という結果でした。二年目は絶対勝つという気持ちで挑み、優勝することができました。

優勝できたのも、いつもお世話になっている先生方、私のことを応援してくださる皆様のおかげです。今までは個人では全国大会優勝という経験がなかったので、とても嬉しかったです。

11月に行なわれる講道館杯に出場することができ、次は講道館杯に向けて頑張ります。

【成績】

優勝 川上由貴（フォーリーフジャパン）
準優勝 大住有香（JR東日本グループ）
第3位 飯田有香（まるや接骨院）
第3位 上野巴恵（三井住友海上火災保険）

▽準々決勝

○川上 優勢勝 小島（JR東日本グループ）

○飯田 内股 谷口（了徳寺学園）

○上野 小内刈 小林（立川梅屋所）

○大住 三角絞 廣田（R・Kスポーツ）

▽準決勝

○川上 大外刈 飯田

○大住 優勢勝 上野

▽決勝

○川上 優勢勝 大住

女子63kg級

” 貝沼が見事な逆転の大内刈一本で決勝戦を制し、初優勝を決める “

淑徳柔道クラブ貝沼は3試合全一本勝で勝ち進み、実力者の谷本育実参段（コマツ）と準決勝戦で対戦。ここでは攻めの柔道で谷本から指導2を奪って決勝戦に進む。一方、コマツ片桐はチームの先輩岩田千絵四段に対し、中盤以降に上背を利しての攻撃で岩田に守勢を余儀なくさせて指導2を奪い、終盤反撃する岩田を振り切って決勝戦進出。

右組み同士の両者の決勝戦。開始間際の7秒、片桐は貝沼が押して来るところを回り込みながら、右大内刈を掛けつつ左手で貝沼の太腿を制して押し込み、有効を奪う。その後、両者の組手争いが続く。貝沼が体落、片桐は大外刈を仕掛け合図が決め手を欠く。

中盤、両者の攻防激しく、貝沼が掛けた大外刈を片桐が押し返すところを、今度は貝沼が大内刈に転じ、大きく刈り上げながら、左手で片桐の右太腿を握って持ち上げながら体を預け、最後は押し付けるように片桐を背中から倒す。2分16秒、貝沼逆転の見事な一本勝で嬉しい初優勝。



優勝した貝沼選手
（淑徳柔道クラブ）

貝沼の話

私は、今回初めて全日本で優勝することができました。試合が終わって、思ったことは二つです。一つは、実業団まで柔道を続けさせてくれた両親、先生方、そして仲間に対する感謝です。私は自分でも自覚があるくらい、とても手が掛かる選手で、試合前は周りにいた方々に支えてもらっています。そうしかた々に、喜んでくれたことがとても嬉しかったです。

二つ目は、もっと上を目指したいという気持ちです。私は、今まで大きな試合で勝てたことがなかったのですが、この試合を良い弾みにできたと思います。今回、私はこの試合でたくさん課題が見つかりました。今後は、その課題を克服できるように練習に励んでいきたいと思っています。

【成績】

優勝 貝沼麻衣子（淑徳柔道クラブ）
準優勝 片桐夏海（コマツ）
第3位 谷本育実（コマツ）
第3位 岩田千絵（コマツ）

▽準々決勝

○谷本 判定勝 中西（徳谷クラブ）

○貝沼 大内刈 松井（丸順）

○岩田 優勢勝 熊田（北関東警備保障）

○片桐 上四方固 中（京都医療専門学校）

▽準決勝

○片桐 優勢勝 岩田

○貝沼 優勢勝 谷本

▽決勝

○貝沼 大内刈 片桐

女子57kg級

“新人石川、先輩宇高の終り間際の大外刈をきわどく防いで優勝”

一本勝で勝ち進んだコマツ宇高は、同じくオール一本勝の宿敵三井住友海上火災保険の塩瀬絢子式段との準決勝戦では激しい攻撃防御を繰り返し、共に指導3を背負う。しかし、序盤過ぎに奪った小内刈有効が勝敗を分けることになり、宇高が決勝戦進出を果たす。

対するコマツの新人石川。2試合一本勝で勝ち上がり、準決勝戦も広村麻衣式段（自衛隊体育学校）に寝技の攻撃を重ね、終盤には巧みな固め技一本で制して堂々決勝戦に駒を進める。

この階級の決勝戦も僚友対決となった。共に右組み。長身の石川は奥襟を持って大内刈、足技で攻める。宇高もこれに負けじと奥襟を取って大外刈で応ず。2分15秒、宇高に攻めが無くなったところで指導1。その後、宇高が積極的に出る。3分6秒、宇高が払腰に入り潰れたところを、これに応じた石川の大外刈で宇高の体がぐるりと回り背中を着く。主審は有効を宣告する。

後が無い宇高は猛反撃に転じ、終了間際右大外刈で石川を大きく浮かせるも、プザーと同時に石川は着地間際に体を捻って腹ばいで逃れる。新人石川、大学の先輩でもある宇高を降して、初優勝を遂げる。



優勝した石川選手
(コマツ)

石川の話

今大会は社会人になって初めての大会だったので、優勝できて良かったです。これも監督、助監督、コーチ、日頃から応援して頂き協力して頂いている会社の方々のおかげだと思っています。会社の方々には特にこういう場でしか恩返しすることができないので、これからも大きな大会で優勝して少しでも恩返ししていきたいです。これからも目標に向かって日々努力して精進していきます。

【成績】

優勝 石川 慈 (コマツ)
準優勝 宇高菜絵 (コマツ)
第3位 塩瀬絢子 (三井住友海上火災保険)
第3位 広村麻衣 (自衛隊体育学校)

▽準々決勝

○塩瀬 横四方固 佐々木 (JR東日本グループ)
○宇高 大外刈 栗野 (フューリーシヤパン)
○石川 肩固 上原 (JR東日本グループ)
○広村 優勢勝 高部 (日本生命保険)

▽準決勝

○宇高 優勢勝 塩瀬
○石川 袈裟固 広村

▽決勝

○石川 優勢勝 宇高

女子52kg級

“強敵を降して勝ち上がった浅海が決勝戦も見事に一本勝ち初優勝”

JR東日本グループの浅海は順調に勝ち上がる。大会三連覇中の近藤優子四段（S・T・O）との準決勝戦では、両者激しい技の応酬の中、序盤過ぎに奪った内股の有効が決め手となり決勝戦進出を決める。

一方、昨年準優勝の自衛隊体育学校小島は、3回戦での接戦を制して勝ち上がる。準決勝戦では強敵を破って意気上がる東川真梨参段（ヤックスケアサービス）に終盤の背負投で有効を奪い、決勝戦進出を決める。

両者右組み同士の決勝戦。浅海は奥襟を取って内股、払腰で攻め、小島は担ぎ技で応じる。浅海がやや攻勢に試合を進めるが、共に決め手無く引き分ける。延長戦は小島がやや優勢に運ぶが、2分16秒浅海が組み際にがっちり掴むや否や渾身の内股を放つと、小島は大きく回って畳に落下。新人浅海、堂々の初優勝。



優勝した浅海選手
(JR東日本グループ)

浅海の話

今回の全日本実業団で優勝する事は、私の今年の目標の1つでもあったので、優勝する事が出来、嬉しく思います。こうして柔道に打ち込める環境をつくっていただき、また、いつも周りでサポートしてくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも稽古に励んでいきたいです。

【成績】

優勝 浅海静香 (JR東日本グループ)
準優勝 小島愛子 (自衛隊体育学校)
第3位 近藤優子 (S・T・O)
第3位 東川真梨 (ヤックスケアサービス)

▽準々決勝

○近藤 背負投 絆持 (鏡羽)
○浅海 合せ技 野々部 (ナチュラル)
○小島 判定勝 武田 (日本トスサポト)
○東川 優勢勝 森本 (了徳寺学園)

▽準決勝

○浅海 優勢勝 近藤
○小島 優勢勝 東川

▽決勝

○浅海 内股 小島

女子 48 kg 級

“ 昨年準優勝の伊部、旗判定で3本の赤旗を得て嬉しい初優勝 ”

ぎふ柔道クラブ24の伊部は昨年の再現となった萩野早映式段（高宮接骨院）との準決勝戦では、序盤の一本背負が決まり、昨年に続き初優勝を目指して決勝戦へ進出。片や、了徳寺学園の新人濱口は準決勝戦で田上愛香式段（ヤックスケアサービス）を開始早々の寝技で難なく制して決勝戦進出を決める。

決勝戦。共に左組み。伊部は小内刈、背負投で攻め、濱口は体落で応戦。しかし、伊部はこれを潰して寝技で攻める。再三抑え込むチャンスを抑むも取り逃がして時間。延長戦に入ると濱口に疲労の色濃く、技の出なくなった濱口に1分丁度に指導1が与えられる。その後は目立った攻防もなく時間となり旗判定に。審判の旗は赤3本、伊部に上がる。伊部、嬉しい初優勝を果たす。



優勝した伊部選手
（ぎふ柔道クラブ24）

伊部の話

優勝できたことをとても嬉しく思います。昨年は決勝戦で負け、悔しい思いをしました。これまでもなかなか私の柔道を出し切れないことがありました。しかし、本大会では私の柔道を買き、結果を残すことができました。優勝できたことに自信を持ち、更なる飛躍を誓いたいと思います。また、日頃サポートしていただいている岐建株式会社及びぎふ柔道クラブ24の皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。これからも、一戦一戦、私の柔道を買き、勝ちたいと思います。

【成績】

優勝 伊部尚子（ぎふ柔道クラブ24）

準優勝 濱口 光（了徳寺学園）

第3位 萩野早映（高宮接骨院）

第3位 田上愛香（ヤックスケアサービス）

▽二回戦

○伊部 送足弘

石井（日光警備保障）

○萩野 優勢勝

前島（日本生命保険）

○田上 棄権

近藤（日本生命保険）

○濱口 袈裟固

秋元（東京警察専門学校）

▽準決勝

○濱口 崩壊袈固

田上

○伊部 一本背負

萩野

▽決勝

●伊部 判定勝

濱口

熱戦風景 1



78kg超級 立山 優勢勝 新田



100kg超級 石井 大外刈 辻



78kg級 渡邊 一本背負 岡村



100kg級 増淵 内股 野田

男子100kg超級(76名)

○印はシード選手

○印はシード選手

成績表

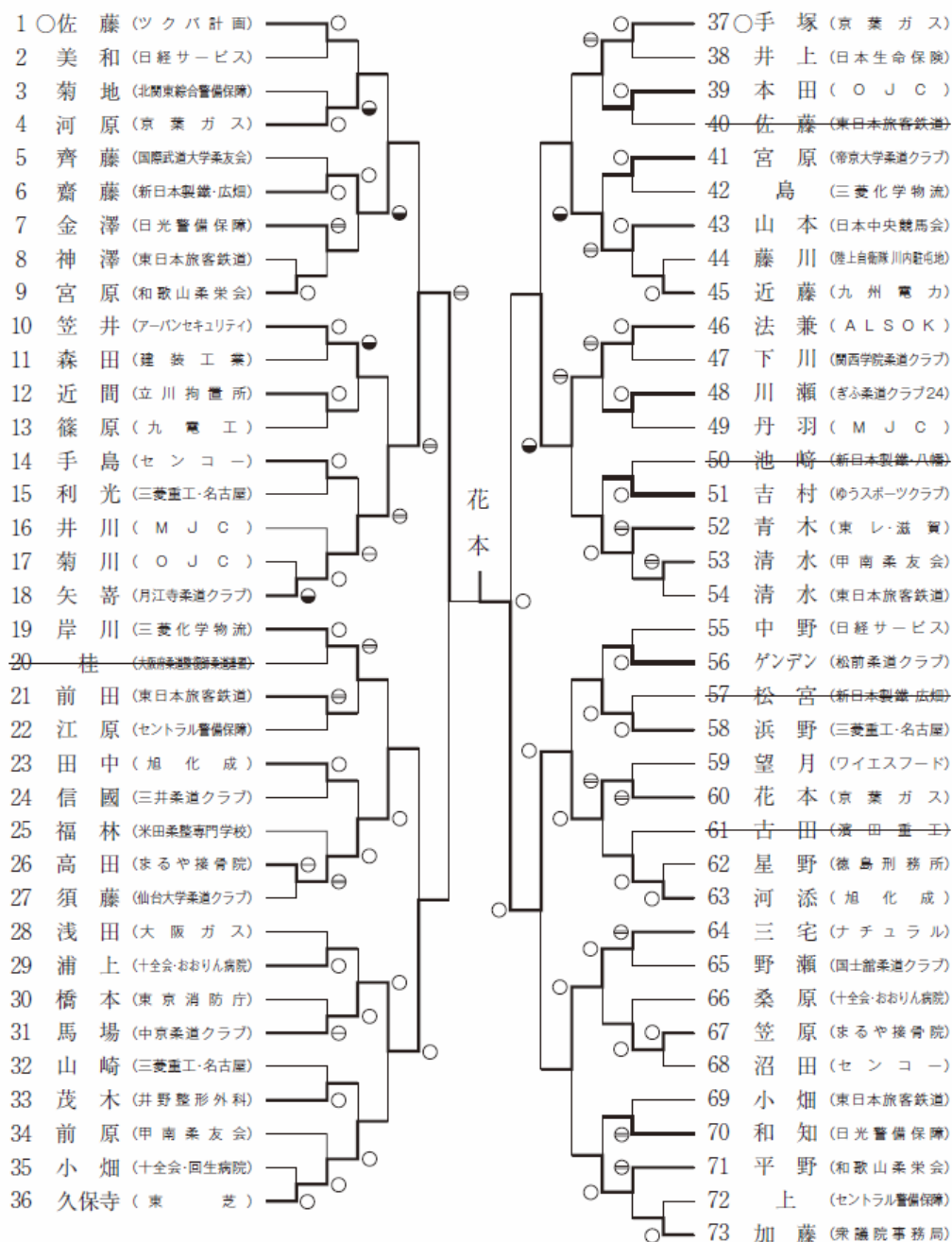
男子100kg級(77名)

1 ○西 潟 (旭 化 成)		39 ○野 田 (旭 化 成)
2 細 田 (戸 高 鉱 業 社)		40 土 井 (近 畿 通 関)
3 新 井 (ぎふ柔道クラブ24)		41 崎 村 (戸 高 鉱 業 社)
4 鈴 木 (東 芝)		42 林 (京 葉 ガ ス)
5 小 野 (新日本製鐵・広畑)		43 谷 本 (大阪府柔道連盟・東条道場)
6 棚 橋 (豊田自動織機)		44 谷 口 (日光警備保障)
7 坂 本 (セントラル警備保障)		45 波多江 (九 電 工)
8 中 島 (九 電 工)		46 志 村 (東 芝)
9 千 葉 (まるや接骨院)		47 折 田 (日経サービス)
10 浦 田 (NEXCO柔道倶楽部)		48 岩 井 (アーバンセキュリティ)
11 佐 藤 (金沢学院クラブ)		49 丸 田 (海上自衛隊横須賀)
12 戸 邊 (アーバンセキュリティ)		50 今 井 (A L S O K)
13 濱 上 (A L S O K)		51 小 坂 (日 本 通 運)
14 西 山 (トーエー企業)		52 中 村 (ぎふ柔道クラブ24)
15 高 須 (ナチュラル)		53 川 波 (九 州 電 力)
16 谷 村 (大 阪 ガ ス)		54 駒 瀬 (セ ン コ ー)
17 石 本 (セ ン コ ー)		55 菅 澤 (JRR日本リテールネット)
18 阿 野 (大阪府柔道連盟・東条道場)		56 田 村 (東 レ・滋 賀)
19 當 眞 (東 芝)		57 志 賀 (セントラル警備保障)
20 延 城 (バ ー ク 24)		58 ○森 本 (了 徳 寺 学 園)
21 吉 田 (十全会・回生病院)		59 川 端 (新日本製鐵・広畑)
22 古 谷 (日光警備保障)		60 阪 本 (明治薬洋医学院専門学校)
23 中 原 (徳 島 刑 務 所)		61 西 條 (十全会・回生病院)
24 田 中 (K.Kス ポ ー ツ)		62 平 江 (本田技研・熊本)
25 砂 原 (近 畿 通 関)		63 武 田 (東 芝)
26 角 (東 レ・滋 賀)		64 佐 藤 (M J C)
27 山 田 (鹿 谷 ク ラ ブ)		65 田 矢 (日柔整請求サービス)
28 出 羽 (アーバンセキュリティ)		66 名 雪 (東日本旅客鉄道)
29 青 田 (海上自衛隊横須賀)		67 清 田 (三菱重工・名古屋)
30 大 熊 (日 本 通 運)		68 鈴 木 (セ ン コ ー)
31 久米川 (東 芝)		69 井ノ上 (A L S O K)
32 西 田 (東日本旅客鉄道)		70 小 林 (金沢学院クラブ)
33 杉 淵 (セ ン コ ー)		71 増 田 (セントラル警備保障)
34 羽 田 (十全会・聖明病院)		72 ラディック (K.Kス ポ ー ツ)
35 小 野 (セントラル警備保障)		73 山 川 (近 畿 通 関)
36 増 渕 (旭 化 成)		74 出 口 (旭 化 成)
37 西 野 (明治薬洋医学院専門学校)		75 太江田 (肥 後 銀 行)
38 大 森 (河 内 厚 生 会)		76 堀 口 (アーバンセキュリティ)
		77 奥 井 (東 芝)

○印はシード選手

成績表

男子90kg級(73名)



○印はシード選手

成績表

男子81kg級(113名)

1	○谷口	(旭化成)	57	○塘内	(旭化成)
2	平尾	(パーク24)	58	齊藤	(豊田自動織機)
3	高橋	(ALSOX競輪ロードシステム)	59	海老沼	(パーク24)
4	村上	(原上自衛隊 川内駐屯地)	60	丸峯	(日本通運)
5	呉	(平塚田楽道クラブ)	61	辻	(ダイコロ)
6	木次	(高宮接骨院)	62	佐々木	(横浜国大薬友会)
7	山田	(東芝)	63	阿野	(阿野道場)
8	杉本	(豊田自動織機)	64	中演	(京葉ガス)
9	萬代	(日本生命保険)	65	立野	(三菱化学物流)
10	日當	(日本通運)	66	山本	(日本生命保険)
11	澤田	(アイシン精機)	67	横山	(井野整形外科)
12	大野	(新日本製鐵・八幡)	68	山下	(大阪府選抜柔道連盟)
13	ハーレー	(広島大学柔道クラブ)	69	珠玖	(近畿通関)
14	三熊	(東日本旅客鉄道)	70	野村	(自衛隊体育学校)
15	林	(東京消防庁)	71	小暮	(ALSOX競輪ロードシステム)
16	田中	(ぎふ柔道クラブ24)	72	鹿本	(東日本旅客鉄道)
17	加藤	(建築工業)	73	内間	(アバンセキュリティ)
18	松田	(ゆうスポーツクラブ)	74	渡邊	(十全会・聖明病院)
19	福田	(河内厚生会)	75	竹森	(高宮接骨院)
20	斎藤	(JAKE-JAPAN)	76	岡増	(三菱重工・名古屋)
21	野中	(海上自衛隊横須賀)	77	黒澤	(東レ・滋賀)
22	林	(九電工)	78	渭原	(東芝)
23	高野	(千葉市消防局)	79	田中	(千代田インテグレ)
24	福田	(東レ・名古屋)	80	黒岩	(了徳寺学園)
25	長谷川	(大阪府柔道選抜柔道連盟)	81	中村	(海上自衛隊横須賀)
26	千葉	(旭化成)	82	黒肥地	(十全会・おおりん病院)
27	乙名	(戸高鉱業社)	83	堀田	(関西学院柔道クラブ)
28	武田	(新日本製鐵・広畑)	84	前川	(日豪整請求サービス)
29	石川	(海上自衛隊横須賀連合)	85	安久津	(河内厚生会)
30	小野寺	(千代田インテグレ)	86	大東	(旭化成)
31	清水	(徳島刑務所)	87	木下	(K.Kスポート)
32	小串	(濱田重工業)	88	中島	(豊田自動織機)
33	平野	(近畿通関)	89	佐藤	(衆議院事務局)
34	菊地	(金沢学院クラブ)	90	原	(十全会・同生病院)
35	石井	(セントラル警備保障)	91	須藤	(寄居明道館)
36	井原	(ダイコロ)	92	佐々木	(セントラル警備保障)
37	庄本	(明治東洋医学専門学校)	93	比留川	(高宮接骨院)
38	田浦	(豊田自動織機)	94	堤	(濱田重工業)
39	大田	(K.Kスポート)	95	貫	(パーク24)
40	ガンバ	(京都医療専門学校)	96	布施	(錦秀会 阪和病院)
41	海老	(旭化成)	97	日蔭	(国士館柔道クラブ)
42	横山	(井野整形外科)	98	鎌田	(海上自衛隊横須賀連合)
43	英	(日本通運)	99	大城	(選抜田代道場)
44	山手	(YKK)	100	馬場	(原上自衛隊 川内駐屯地)
45	赤木	(原上自衛隊 川内駐屯地)	101	松原	(和歌山柔道会)
46	佐藤	(了徳寺学園)	102	垣田	(旭化成)
47	小林	(横浜国大薬友会)	103	金子	(セシヨ)
48	丸山	(和歌山柔道会)	104	吉永	(新日本製鐵・広畑)
49	中川	(東芝)	105	矢野	(日本通運)
50	阿部	(十全会・おおりん病院)	106	田辺	(JFEスチール)
51	山本	(九州電力)	107	川田	(豊田自動織機)
52	入来	(関西学院柔道クラブ)	108	稲葉	(ダイコロ)
53	村上	(MJO)	109	三尾	(明治東洋医学専門学校)
54	平本	(肥後銀行)	110	牧瀬	(大東薬業)
55	藤原	(日豪整請求サービス)	111	森本	(住友信託銀行)
56	城之内	(JFEスチール)	112	野中	(肥後銀行)
			113	山口	(東洋水産)

○印はシード選手

成績表

男子73kg級(90名)

1 ○齋藤 (旭化成)		46 ○鳥居 (S・T・O)
2 野津 (クラレ岡山)		47 向野 (MJC)
3 高本 (K.Kスポーツ)		48 白井 (旭化成)
4 金澤 (豊田自動織機)		49 佐久間 (東日本旅客鉄道)
5 鳥越 (OJC)		50 岩本 (ナチュラル)
6 成田 (東京科学大学柔道クラブ)		51 田上 (ワイエスフード)
7 塩澤 (井野整形外科)		52 岡本 (東芝)
8 野口 (徳島刑務所)		53 上田 (十全会・聖明病院)
9 加藤 (東京消防庁)		54 田窪 (清美学園)
10 西倉 (日柔整請求サービス)		55 菅井 (横浜国大柔友会)
11 飛田 (大東柔整)		56 渋谷 (井野整形外科)
12 近藤 (ナチュラル)		57 太田 (自衛隊体育学校)
13 藤原 (東レ名古屋)		58 佐藤貴 (K.Kスポーツ)
14 田中 (赤穂YAWARAクラブ)		59 藤本 (関西学院柔道クラブ)
15 吉蘭 (ダイコロ)		60 紫垣 (九電一王)
16 宮崎 (日経サビス)		61 小宮山 (赤門柔道倶楽部)
17 広川 (YKK)		62 日紫喜 (東レ名古屋)
18 石橋 (九電工)		63 竹村 (京都医療専門学校)
19 小池 (北関東総合警備保障)		64 尾原 (同志社WRJC)
20 丸山 (丸善大柔道クラブ)		65 菅沼 (北関東総合警備保障)
21 有村 (明治東洋医学専門学校)		66 益井 (ミズノ)
22 岡本 (住友信託銀行)		67 土屋 (JFEスチール)
23 ○赤迫 (自衛隊体育学校)		68 ○榎本 (新田クラブ)
24 山田 (三菱重工・名古屋)		69 根岸 (海上自衛隊横須賀)
25 渡邊 (日本生命保険)		70 上田 (OJC)
26 板川 (日本通運)		71 井上 (広島大学柔道クラブ)
27 赤坂 (関西学院柔道クラブ)		72 西岡 (京葉ガス)
28 日下 (横浜国大柔友会)		73 秋山 (明治東洋医学専門学校)
29 延島 (まるや接骨院)		74 松田 (瀬野川病院)
30 小川 (三菱化学物流)		75 河野 (日本通運)
31 丸山 (東芝)		76 齋藤 (住友信託銀行)
32 萩野 (新鋭選手リユーション)		77 大平野 (豊田自動織機)
33 乾 (和歌山柔栄会)		78 森光 (横浜国大柔友会)
34 今井 (井野整形外科)		79 安東 (戸高鉱業社)
35 樋口 (早稲田柔道クラブ)		80 八山 (ALSOK防衛給付システム)
36 赤迫 (戸高鉱業社)		81 長部 (トニー企業)
37 村田 (瀬野川病院)		82 脇田 (大阪ガス)
38 寺居 (同志社WRJC)		83 瀬戸 (井野整形外科)
39 山本 (明治東洋医学専門学校)		84 吉永 (高倉接骨院)
40 小嶋 (セソー)		85 加古 (日柔整請求サービス)
41 谷本 (アイシン精機)		86 山本 (赤穂YAWARAクラブ)
42 松本 (大阪ガス)		87 佐藤大 (K.Kスポーツ)
43 相楽 (十全会・聖明病院)		88 渡邊 (クラレ岡山)
44 澤田 (国士館柔道クラブ)		89 藤田 (ジェイテクト)
45 安達 (豊田自動織機)		90 笠 (肥後銀行)

○印はシード選手

成績表

男子66kg級(93名)

1 ○浅野 (自衛隊体育学校)		47 ○日置 (和歌山柔栄会)	
2 赤木 (東洋水産)		48 八巻 (松前柔道クラブ)	
3 百村 (北関東総合警備保障)		49 吉本 (日経サービス)	
4 川上 (三菱重工・名古屋)		50 鈴木 (金沢学院クラブ)	
5 西口 (米田柔道専門学校)		51 位田 (東レ・名古屋)	
6 池澤 (大阪府柔道整復師専門学校)		52 大野 (創系会柔道クラブ)	
7 工藤 (西日本シティ銀行)		53 三好 (錦秀会 阪和病院)	
8 山口 (赤穂YAWARAクラブ)		54 小川 (日本貨物鉄道)	
9 藤田 (明治東洋医学専門学校)		55 岩田 (ぎふ柔道クラブ24)	
10 城後 (大阪ガス)		56 石本 (豊田自動織機)	
11 木村 (豊田自動織機)		57 辻下 (日本エースサポート)	
12 荘司 (ALSOK)		58 井入 (住友信託銀行)	
13 望月 (セコン)		59 鳥入 (近畿通関)	
14 笠井 (ぎふ柔道クラブ24)		60 伊藤 (自衛隊体育学校)	
15 小倉 (K.Kスポーツ)		61 赤池 (JRA東日本リテラネット)	
16 上杉 (三菱レイコン・大竹)		62 山口 (神鋼環境ソリューション)	
17 朝比奈 (松前柔道クラブ)		63 友水 (早稲田柔道クラブ)	
18 藤本 (関西学院柔道クラブ)		64 中島 (とちぎ柔道整復専門学校)	
19 田村 (和歌山柔栄会)		65 魚村 (日柔整請求サービス)	
20 柴田 (豊田自動織機)		66 金丸 (さくら咲く整骨院)	
21 塚本 (日本生命保険)		67 武末 (東芝)	
22 濱田 (錦秀会 阪和病院)		68 馬場 (クラレ・岡山)	
23 青木 (とちぎ柔道整復専門学校)		69 藤村 (トーエー企業)	
24 岩崎 (新日本製鐵・八幡)		70 ○青木 (パーク24)	
25 正田 (住友信託銀行)		71 小宮山 (明治東洋医学専門学校)	
26 江下 (濱田重工業)		72 梅野 (九番大柔道クラブ)	
27 小櫻 (国士館柔道クラブ)		73 伊藤 (高宮接骨院)	
28 樋口 (パーク24)		74 上林 (早稲田柔道クラブ)	
29 河上 (京都医健専門学校)		75 阿野 (大阪府柔道整復師専門学校)	
30 市名 (トヨタ自動車)		76 湊 (九電工)	
31 竹本 (広島大学柔道クラブ)		77 飯田 (仙台大学柔道クラブ)	
32 井浦 (早稲田柔道クラブ)		78 飯島 (関西学院柔道クラブ)	
33 郡司 (松前柔道クラブ)		79 秋元 (了徳寺学園)	
34 川北 (JFEスチール)		80 永造 (東洋水産)	
35 金丸 (さくら咲く整骨院)		81 永井 (三菱レイコン・大竹)	
36 荘司 (紀宝柔道会)		82 喜多 (大阪ガス)	
37 中山 (大阪ガス)		83 金子 (三菱重工・名古屋)	
38 窪田 (日本エースサポート)		84 五十嵐 (京都医健専門学校)	
39 松村 (海上自衛隊 川内駐屯地)		85 羽佐田 (トヨタ自動車)	
40 西山 (神鋼環境ソリューション)		86 岩下 (豊田自動織機)	
41 阪口 (ミズノ)		87 小野 (A-s-i-e-t)	
42 菊田 (東日本旅客鉄道)		88 鈴木 (松前柔道クラブ)	
43 漆畑 (東芝)		89 豊田 (国士館柔道クラブ)	
44 野々部 (豊田自動織機)		90 栗原 (海上自衛隊横須賀)	
45 原木 (ワイエスフード)		91 荘司 (自衛隊体育学校)	
46 丸橋 (明治東洋医学専門学校)		92 糺 (甲南柔友会)	
		93 三浦 (住友信託銀行)	

○印はシード選手

成績表

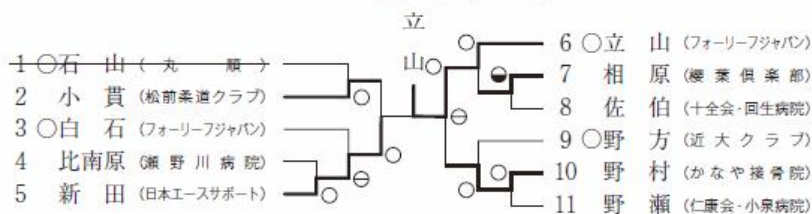
男子60kg級(55名)

1 ○小 川 (了 徳 寺 学 園)	○	28 ○和 泉 (自衛隊体育学校)
2 柳 井 (東 京 消 防 庁)	○	29 山 岸 (J-R O A D)
3 宮 本 (新日本製鐵・八幡)	○	30 今 上 (セントラル警備保障)
4 越 後 (堀 谷 建 設)	○	31 井 上 (チャマグローバル)
5 大 西 (日本エースサポート)	○	32 林 (早稲田柔道クラブ)
6 中 西 (光 進 工 業)	○	33 佐 藤 (駒澤大学柔友会)
7 王 藤 (ワイエスフット)	○	34 上 田 (K.K スポーツ)
8 池 野 (セ ン コ ー)	○	35 中 根 (豊田自動織機)
9 平 岡 (オ ジ ュ)	○	36 中 野 (日本エースサポート)
10 水 野 (日本起重機サービス)	○	37 鈴 木 (かなや接骨院)
11 梨 本 (金沢学院クラブ)	○	38 藤 川 (京都医健専門学校)
12 野 村 (ミ キ ハ ウ ス)	○	39 池 田 (明治東洋医学専門学校)
13 本 郷 (錦秀会 阪和病院)	○	40 矢 野 (バ ー ク 24)
14 ○石 川 (了 徳 寺 学 園)	○	41 大 谷 (大 阪 ガ ス)
15 石 川 (豊田自動織機)	○	42 ○尾 張 (水 戸 刑 務 所)
16 松 村 (Y K K)	○	43 石 田 (広島大学柔道クラブ)
17 村 岡 (S・T・O)	○	44 半 澤 (日本エースサポート)
18 小 松 (横浜国大柔友会)	○	45 田 中 (建 装 工 業)
19 大 登 (北関東総合警備保障)	○	46 相 川 (豊田自動織機)
20 鈴 木 (JFEスチール)	○	47 杉 本 (和歌山柔栄会)
21 藤 尾 (明治東洋医学専門学校)	○	48 仲 村 (まるや接骨院)
22 伊 藤 (ナ チ ュ ラ ル)	○	49 晴 枝 (Y K K)
23 漆 畑 (三菱化学物流)	○	50 堅 山 (鹿 情 報 教)
24 上 地 (ゆうスポーツクラブ)	○	51 田 宮 (岐阜市役所)
25 高 橋 (新日本製鐵・大分)	○	52 藤 田 (東 レ・滋 賀)
26 川 上 (アーバンセキュリティ)	○	53 本 橋 (立教柔道クラブ)
27 井 上 (広島大学柔道クラブ)	○	54 小 林 (JAKE・JAPAN)
		55 大 野 (東 レ・名古屋)

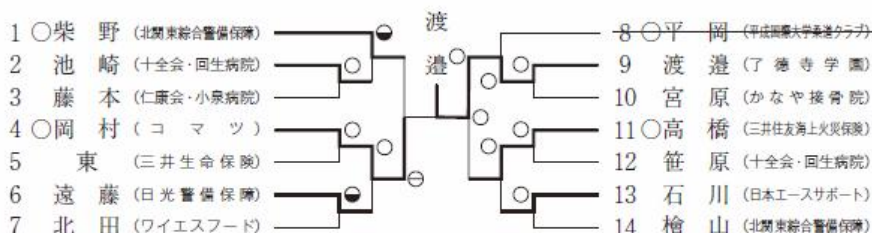
○印はシード選手

成績表

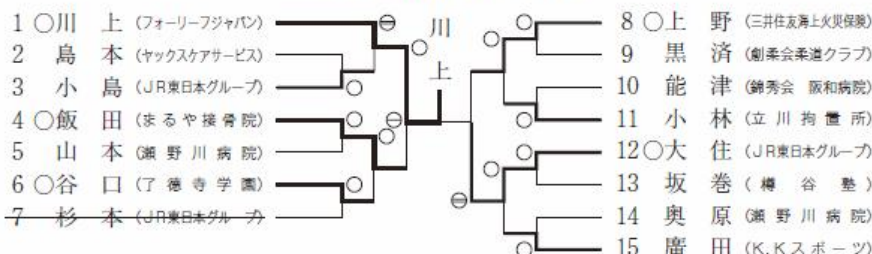
女子78kg超級(11名)



女子78kg級(14名)



女子70kg級(26名)



女子63kg級(20名)



○印はシード選手

成績表

女子57kg級(22名)

1 ○塩 瀬 (三井住友海上火災保険)	○	石 川 (コ マ ツ)	○
2 石 森 (近 大 ク ラ ブ)	○	13 箱 田 (ALSOK防衛隊・防衛隊)	○
3 江 藤 (十全会・同生病院)	○	14 上 原 (J R東日本グループ)	○
4 高 橋 (京都医療専門学校)	○	15 渡 津 (仁康会・小泉病院)	○
5 佐々木 (J R東日本グループ)	○	16 上 村 (三井住友海上火災保険)	○
6 ○宇 高 (コ マ ツ)	○	17 高 部 (日本生命保険)	○
7 伊 福 (日柔整請求サービス)	○	18 藤 井 (横浜国大柔友会)	○
8 塩 山 (ヤックスケアサービス)	○	19 山 本 (肥 後 銀 行)	○
9 栗 野 (フォーリーフジャパン)	○	20 東 (丸 順)	○
10 水 田 (松前柔道クラブ)	○	21 広 村 (自衛隊体育学校)	○
11 桧 山 (樽 谷 塾)	○	22 木 原 (錦秀会 阪和病院)	○

女子52kg級(19名)

1 ○近 藤 (S・T・O)	○	10 ○小 島 (自衛隊体育学校)	○
2 岡 崎 (まるや接骨院)	○	11 中 澤 (日本生命保険)	○
3 剣 持 (綾 羽)	○	12 武 田 (日本エースサポート)	○
4 松 本 (日本生命保険)	○	13 國 本 (日光警備保障)	○
5 ○浅 海 (J R東日本グループ)	○	14 高 塚 (綾 羽)	○
6 秋 山 (金 剛 堂)	○	15 ○森 本 (了 徳 寺 学 園)	○
7 野々部 (ナ チ ュ ラ ル)	○	16 湧 川 (日本生命保険)	○
8 梅 田 (瀬 野 川 病 院)	○	17 西 川 (松前柔道クラブ)	○
9 阿 部 (ALSOK防衛隊・防衛隊)	○	18 東 川 (ヤックスケアサービス)	○
		19 宇都宮 (チャマグローバル)	○

女子48kg級(13名)

1 ○伊 部 (ぎふ柔道クラブ24)	○	7 ○近 藤 (日本生命保険)	○
2 末 成 (横浜国大柔友会)	○	8 田 上 (ヤックスケアサービス)	○
3 石 井 (日光警備保障)	○	9 竹 本 (成島大学柔道クラブ)	○
4 前 島 (日本生命保険)	○	10 ○濱 口 (了 徳 寺 学 園)	○
5 宮前瀬 (仁康会・小泉病院)	○	11 宮 林 (日本生命保険)	○
6 萩 野 (高 宮 接 骨 院)	○	12 横 田 (仙台大学柔道クラブ)	○
		13 秋 元 (東京柔道整復専門学校)	○

○印はシード選手



63kg級 貝沼 大内刈 片桐

熱戦風景2



90kg級 花本 谷落 矢嵯



52kg級 浅海 内股 小島



66kg級 青木 優勢勝 浅野

2011年パリ世界柔道選手権大会 成績一覧表 (当連盟所属)

2011年世界柔道選手権大会が8月23日から28日まで、フランス・パリのベルシー体育館で開催された。132の国と地域、過去最高の880人が参加した。当連盟より男女全14階級28名のうち15名が日本代表として出場した。結果は以下のとおり。

階級	選手名	会社名	成績
90kg級	小野 卓志	学校法人 了徳寺学園	3 位
73kg級	秋本 啓之	学校法人 了徳寺学園	5 位
60kg級	平岡 拓見	学校法人 了徳寺学園	2 位
78kg超級	杉本 美香	コマツ	3 位
78kg超級	田知本 愛	ALSOK	5 位
78kg級	池田ひとみ	自衛隊体育学校	7 位
70kg級	國原 頼子	自衛隊体育学校	3 位
63kg級	上野 順恵	三井住友海上火災保険(株)	2 位
63kg級	阿部 香菜	三井住友海上火災保険(株)	1 回戦敗退
57kg級	佐藤 愛子	学校法人 了徳寺学園	優 勝
57kg級	松本 薫	(株)フォーリーフジャパン	3 位
52kg級	中村 美里	三井住友海上火災保険(株)	優 勝
52kg級	西田 優香	学校法人 了徳寺学園	2 位
48kg級	浅見八瑠奈	コマツ	優 勝
48kg級	福見 友子	学校法人 了徳寺学園	2 位

発行日 2011年10月10日
発行人 全日本実業柔道連盟
印刷 事務局 長 郷田博史
ダイコク株式会社